資料－６

震 災 復 興
進もう！次の東北へ

国土交通省としての東北みらいへの取組

国土交通省

東北震災復興のみらいを語る懇談会　東北のみらいへの取組ポイント

国土交通省

【①大震災からの復興・再生】被災地支援の継続

■被災地のインフラ整備支援継続

○復興まちづくり、インフラ整備の着実な推進

○福島県への支援
- 原子力災害被災地域における道路整備の推進
- 福島県における復興の象徴となる国営追悼・祈念施設の整備の推進　等

支援を引き続き実施

【②観光・交流人口の拡大】復興インフラを活用した伝承ツーリズムの推進

■観光誘客に向けた取組み

○みちのく潮風トレイルや震災遺構・伝承施設を活用した広域的な観光ルートへの誘客促進

○インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツの造成及び観光地・観光産業の再生・高付加価値化等に対する支援の実施

○ホープツーリズム事業等、福島県における観光復興のさらなる促進

■「東北復興ツーリズム推進ネットワーク（仮称）」の設立（R5.7.25予定）

○産官民連携した伝承ツーリズムの推進体制構築
○広域、多面的な枠組みで交流人口を増

【参画予定団体】
- 国（東北地方整備局、東北運輸局、復興庁）
- 自治体（県（岩手・宮城・福島）、関係市町村）
- 関係団体（観光推進機構、311伝承ﾛｰﾄﾞ推進機構等）
- 旅行業各社、航空会社
- JR東日本（事務局）

【③災害の自分ごと化】教訓が、いのちを救う 3.11伝承ロードのさらなる活用

■「バーチャル震災伝承施設（仮称）」構想の検討

・デジタル技術の活用を進め、東北以外の方にも震災経験について“自分ごと化”することを促進

津波による被災車両を3次元データ化

【④「東北みらい」の共有】

■東北圏広域地方計画の骨子を公表（令和5年夏頃）

○未来に希望の持てる豊かな「東北圏」の将来像を示す。
　⇒震災の経験を活かし、レジリエンス（強さとしなやか）を世界に発信する防災先進圏域の形成